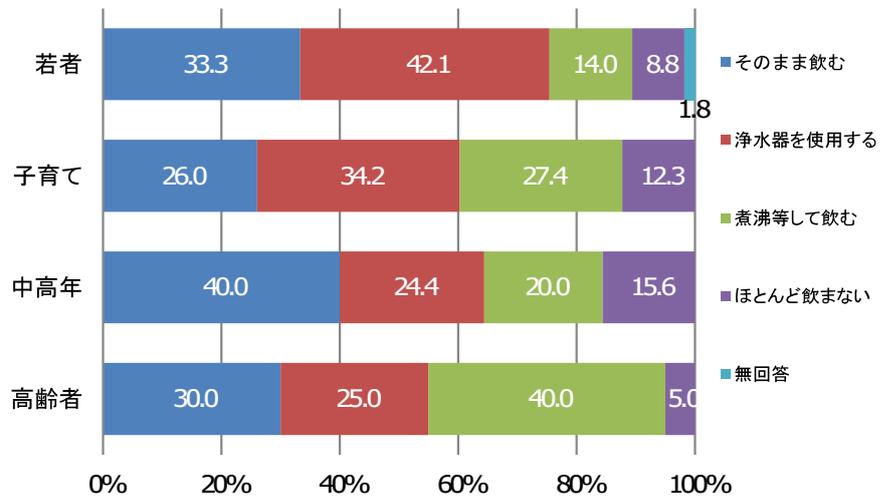
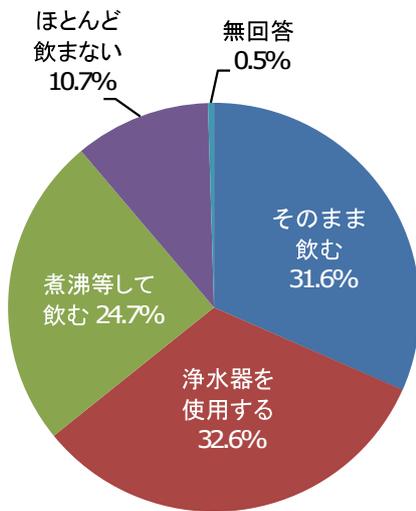


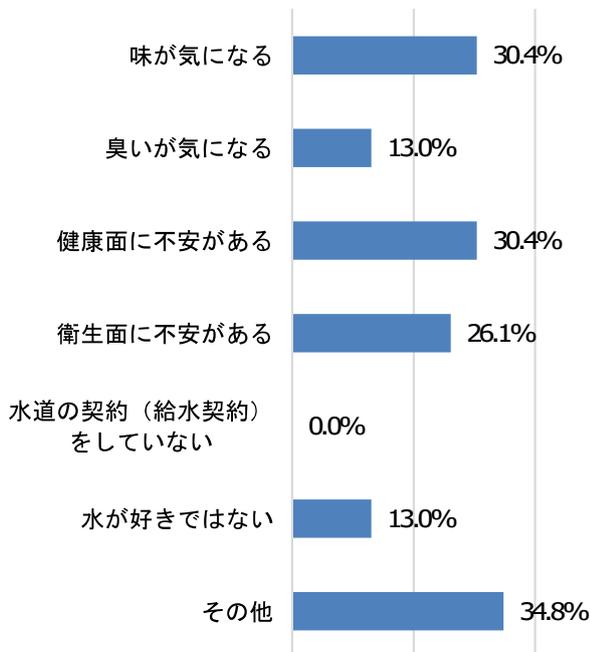
＜上下水道に関する取り組みについて＞

■問1 水道水をどのように飲んでいるか (n=215)



- 水道水をどのように飲んでいるかについては、「浄水器を使用する」が約3割と最も多く、次いで「そのまま飲む」も約3割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育てでは「浄水器を使用する」が、中高年では「そのまま飲む」が、高齢者では「煮沸等して飲む」が最も多い回答となっています。

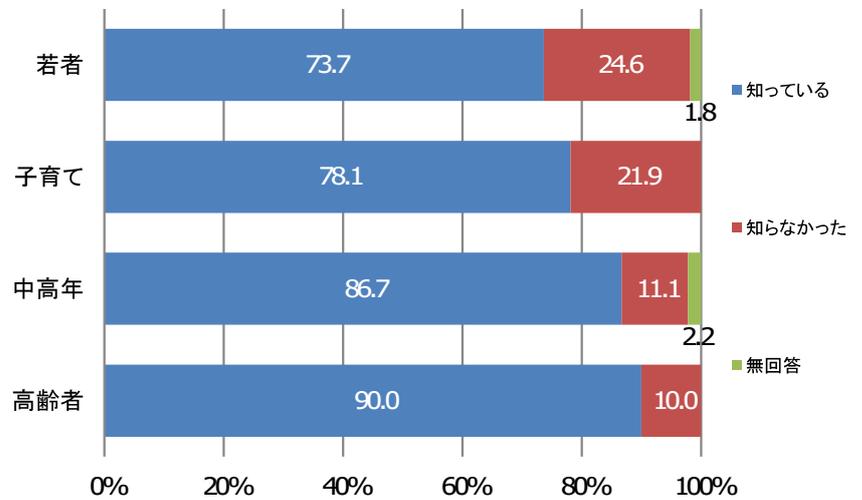
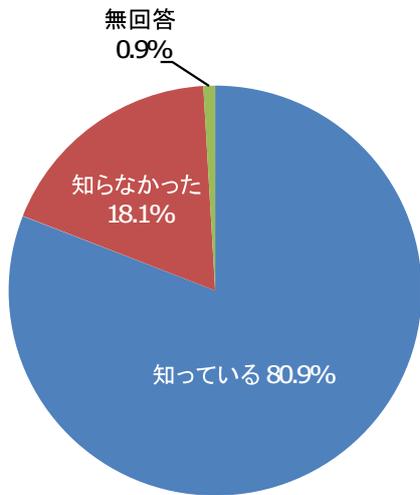
■問2 水道水を飲まない理由 (n=23 複数回答) (問1で「4 水道水はほとんど飲まない」と回答した方)



- 水道水を飲まない理由については、「その他」が最も多い回答となっていますが、「その他」を除くと「味が気になる」と「健康面に不安がある」が約3割と最も多い回答となっています。

問3 水道水には水道法による水質基準※があることの認知度 (n=215)

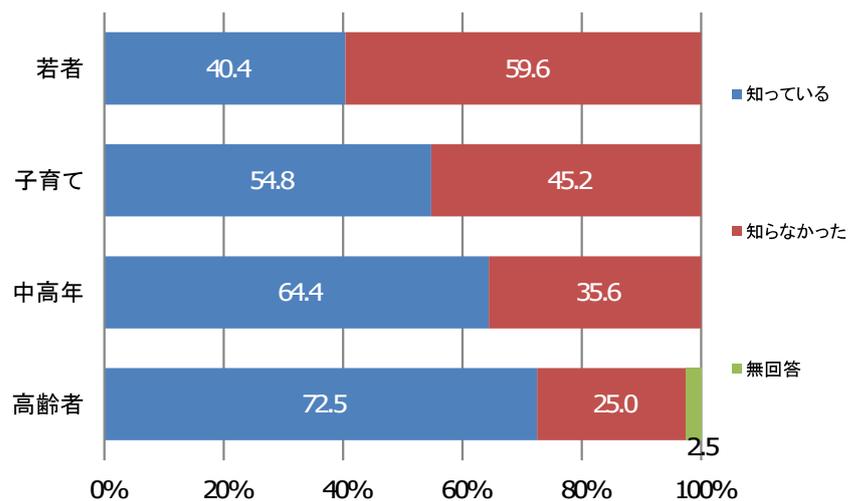
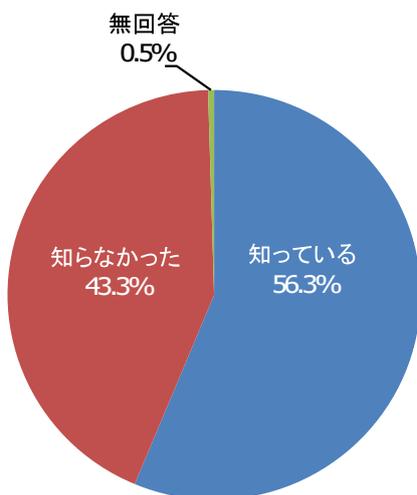
※ 水道水には、人の健康への影響や生活利用上の支障がないよう設定された51項目に及ぶ検査が義務付けられています。



- 水道水には水道法による水質基準があることの認知度については、「知っている」が約8割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて「知っている」の回答割合が高くなっています。

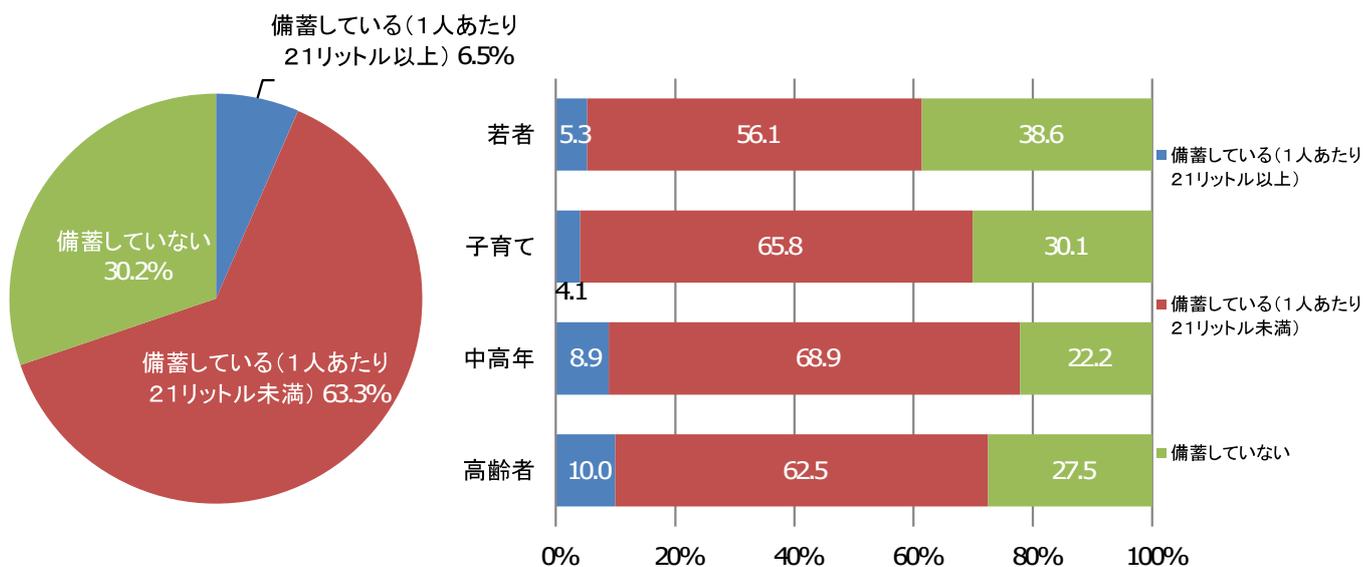
問4 災害時の飲料水の必要備蓄量※の認知度 (n=215)

※ 災害時の飲料水: 1人1日あたり3リットル×7日分=21リットル



- 災害時の飲料水の必要備蓄量の認知度については、「知っている」が約6割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて「知っている」の回答割合が高くなっています。

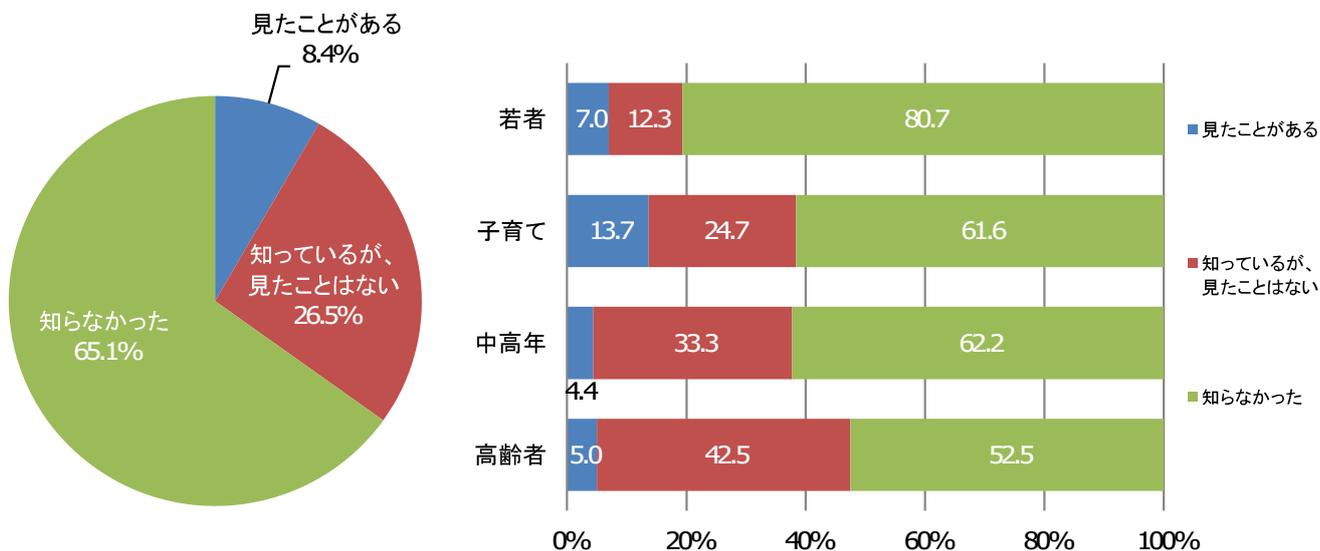
問5 災害用として飲料水を備蓄しているか (n=215)



- 災害用として飲料水を備蓄しているかについては、『備蓄している』(「備蓄している(1人あたり21リットル以上)」と「備蓄している(1人あたり21リットル未満)」の合計)が約7割となっています。
- 世代別にみると、若者の約6割、子育て・高齢者の約7割、中高年の約8割が『備蓄している』と回答しています。

問6 マンホールトイレ※の認知度 (n=215)

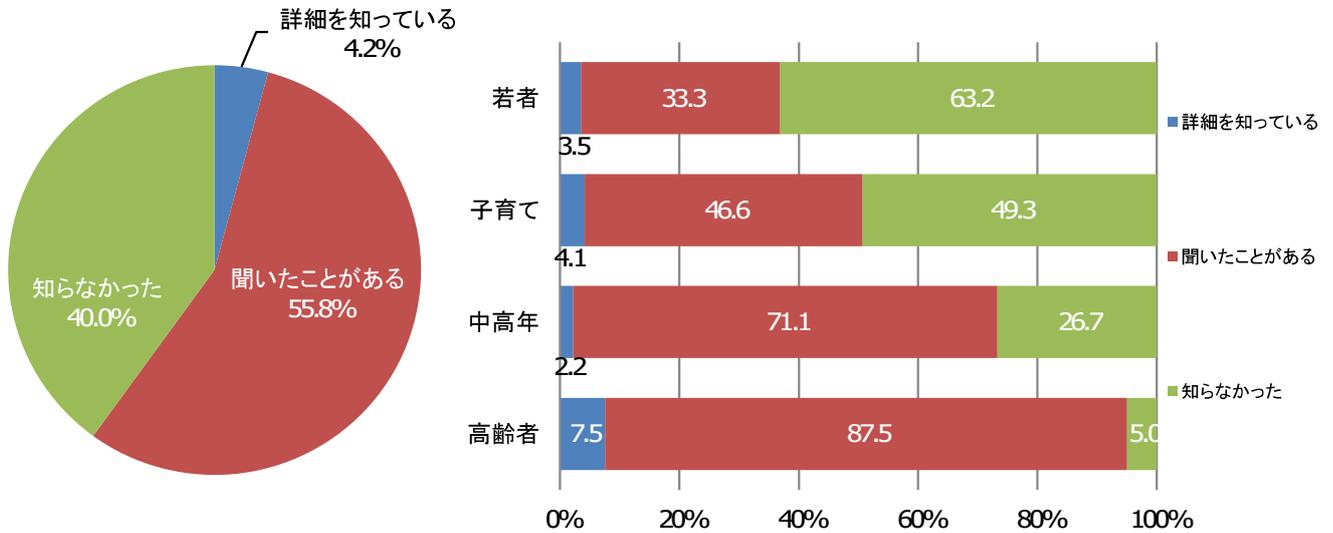
※ 下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座や仕切りなどを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するもの。



- マンホールトイレの認知度については、『知っている』(「見たことがある」と「知っているが、見たことはない」の合計)が約3割となっています。
- 世代別にみると、おおむね世代が高くなるにつれて『知っている』の回答割合が高くなっています。

■問7 近い将来、地中の水道管や下水道管が一斉に老朽化※を迎えることの認知度 (n=215)

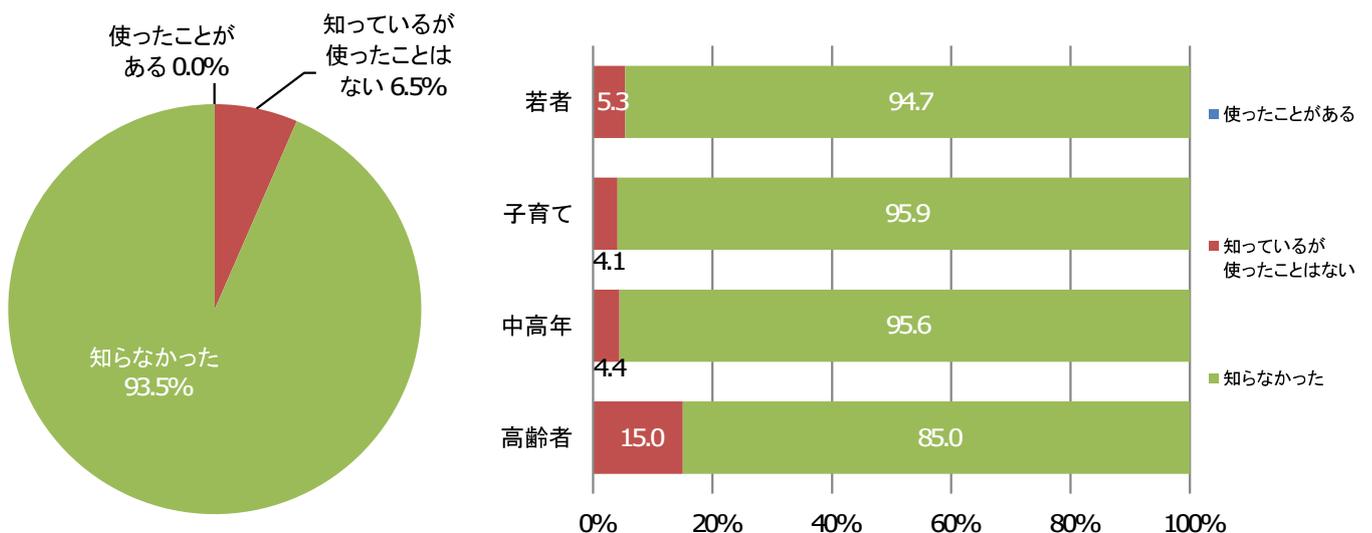
※ 水道は給水開始から91年、下水道は通水開始から56年が経過している。



- 近い将来、地中の水道管や下水道管が一斉に老朽化を迎えることの認知度については、『知っている』(「詳細を知っている」と「聞いたことがある」の合計)が約6割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて『知っている』の回答割合が高くなっており、高齢者では約9.5割が『知っている』と回答しています。

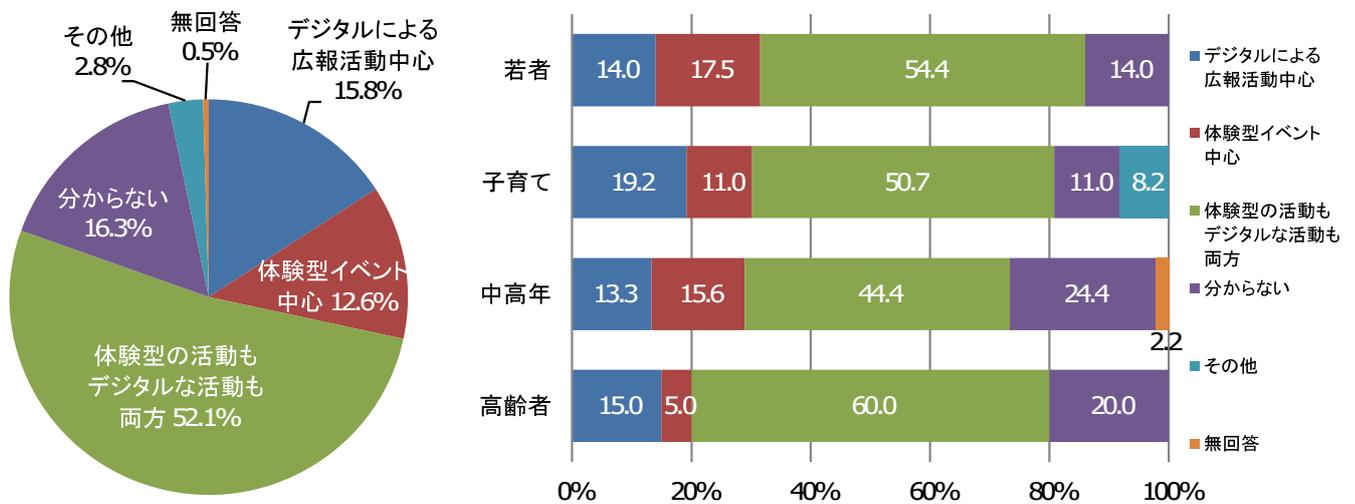
■問8 浜松市LINE公式アカウント「しゃんべえ情報局」のチャットボット「手続きQ&A」※で浜松市の上下水道について調べられることの認知度 (n=215)

※ チャットボット「手続きQ&A」とは、市民からの問い合わせが多い質問に対し、24時間365日、自動応答で簡易な回答を表示するとともに、詳細が記載されたホームページを案内する機能のこと。



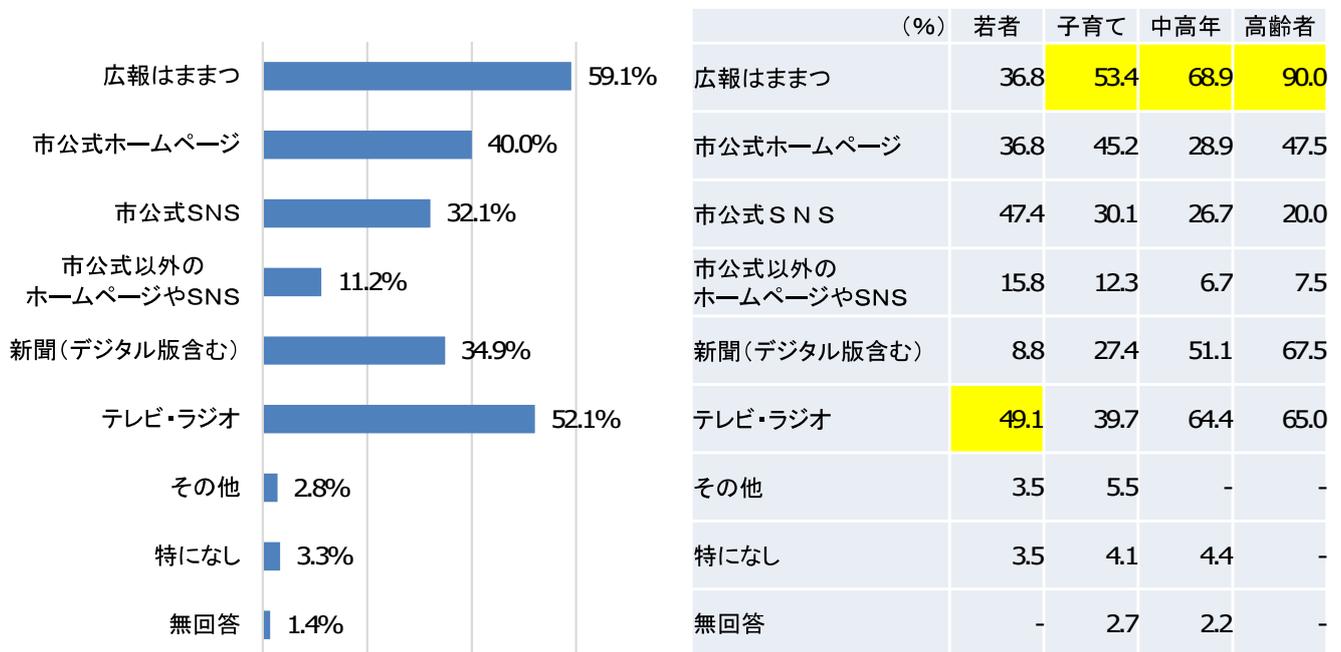
- 「しゃんべえ情報局」のチャットボット「手続きQ&A」で浜松市の上下水道について調べられることの認知度については、『知っている』(「使ったことがある」と「知っているが使ったことはない」の合計)が1割未満となっています。
- 世代別にみると、『知っている』が若者・子育て・中高年では1割未満となっていますが、高齢者では約2割となっています。

■問9 今後の上下水道の広報活動の形態 (n=215)



- 今後の上下水道の広報活動の形態については、「体験型の活動もデジタルな活動も両方」が約5割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「体験型の活動もデジタルな活動も両方」が最も多い回答となっています。

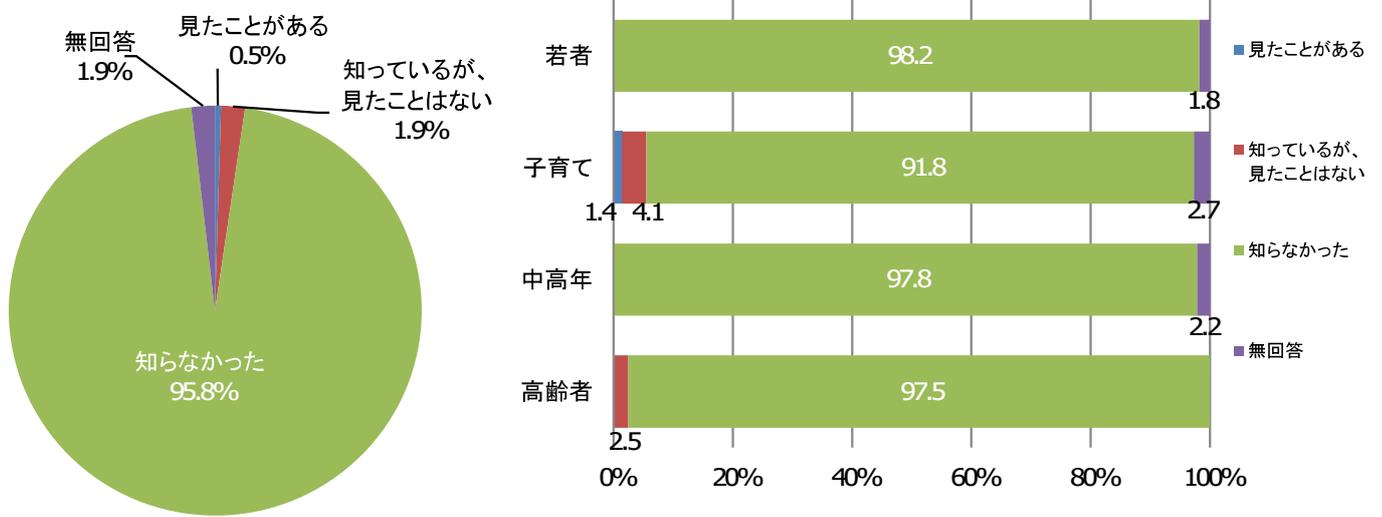
■問10 上下水道に関する情報の入手手段として利用したい媒体 (n=215 複数回答)



- 上下水道に関する情報の入手手段として利用したい媒体については、「広報はままつ」が約6割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、子育て・中高年・高齢者では「広報はままつ」が最も多い回答となっていますが、若者では「テレビ・ラジオ」が最も多い回答となっています。

■問11 浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」※の認知度 (n=215)

※ 浜松市の水道・下水道について子供が楽しく学べるウェブサイトで、大人も楽しめる内容になっている。



- 浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」の認知度については、『知っている』（「見たことがある」と「知っているが、見たことはない」の合計）が1割未満となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で『知っている』が1割未満となっています。